



Chartered April 11.1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo  
 Mail : [syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp](mailto:syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp) Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN  
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

## 主 題

国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Finn A Pederseon "To dare is to do"  
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"  
 西日本区理事 「ワイス'の原点 愛と奉仕で社会に貢献」  
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community  
 through Active Service with Love"  
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」  
 森 紘一  
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」  
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

会 長 都筑省三  
 直前会長 桑野友子  
 副 会 長 堤 清 島田 恒  
 書 記 堀江哲次 柏原佳子  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 上野恭男 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

2

Feb. 2012  
 第 177 号

## 今月の聖句

「わたしの選ぶ断食とはこれではないか・・・飢えた人にあるあなたのパンを裂き与え、さまざま貧しい人を家に招き入れ、裸の人に会えば衣を着せかけ、同胞に助けを惜しまないにと。」  
 イザヤ書 58:6-7

## TOF月間にあたって

上野恭男  
 タイム・オブ・ファースト月間は断食の時として、YMCAを支援する奉仕団体としての芦屋クラブにとって、大事な月です。それと同時に地域奉仕・環境事業も大切です。いわば車の両輪と思います。

我々が支援している社会福祉法人「みどり福祉作業所」は南芦屋浜に4階建ての第2作業所をこの4月に開所します。昨年11月3日のYMCAチャリティランでは、入所者が3チーム楽しんで走りました。未長い支援をして行きたいものです。また我々は、YMCA及び国内外の地域社会に対し奉仕事業を行います。TOF(Time Of Fast)すなわち断食、又は、食事を質素にして節約したお金や、お年玉年賀はがきの当選切手を集めて、その資金にしています。FFも家庭でのTOFです。戸所岩雄地域奉仕・環境事業主任は「社会構造が大きく流動・変化する時代にあっては、奉仕に関わる人々のスタンス(考えや行動の在り様)は、次代へ多大な影響を与えることとなります。「私にとって」、「ワイズメンにとって」、「クラブにとって」、「奉仕」とは何か明確に問われなければいけないと考えます。」と語られます。我々も飽食の時代、国の内外に目を向けてみたいと思います。

## 2月第1例会(TOF)プログラム

と き: 2012年2月15日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3階  
 司 会: 井上雅司メン  
 受 付: 中野雅弘メン・羽太英樹メン

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| 1. 開会点鐘              | 都筑省三会長     |
| 2. クラブソング斉唱          | 一同         |
| 3. 聖書朗読              | 羽太英樹メン     |
| 4. 食前感謝              | 上野恭男メン     |
| 5. 食事・歓談             | 一同         |
| 6. 12-13年度クラブ役員・委員選出 | 島田恒次期会長    |
| 7. 12-13年度六甲部役員紹介    | 飯田次期六甲部長   |
| 8. 第2例会議事録の承認        | 都筑省三会長     |
| 9. 各事業委員報告           | 各事業委員      |
| 10. YMCAニュース         | 藤田良祐連絡主事   |
| 11. 誕生祝い             | 都筑省三会長     |
| 12. ニコニコ献金報告         | 福原吉孝ファンド委員 |
| 13. 閉会点鐘             | 都筑省三会長     |

## 1月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	13名	出席者	13名	0gm (28gm)
ビジター	1名	メイクアップ	3名	
ゲスト	2名	合 計	16名	
メネット	0名	在籍者	17名	ニコニコ (累計)
合 計	16名	(内広義会員1名)		16,530円(113,861円)
		出席率100%		

## 1月第1例会報告

堀江哲次

日時：1月18日(水)19時～21時

場所：ホテル竹園芦屋

司会：田舎庸男 (敬称略)

出席者：飯田、田舎、上野、柏原、加輪上、桑野、都筑、羽太、福原、中野、堀江、渡辺メン、藤田連絡主事(芦屋クラブ)、加茂修治(神戸西クラブ)、山本健(樹医)ゲスト・スピーカー、藤川晃成(医師)

今年最初の例会であり、すがすがしい気持ちで迎えられた。今月の聖句朗読はヨハネ黙示録より「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている…」であり新年のはじまりにふさわしいものと思った。いつもながら羽太メンの聖句の解説は素晴らしく、出来ればブリンに記録として残しておきたいと感じた。

ゲスト・スピーカーは、柏原書記がチャリティワインを楽しむ会で

同席し依頼を引き受けてくださった山本健様であった。山本様は芦屋クラブのクリスマス会にも出席されており、私は写真を撮らしていただいたが、そのとき樹木の選定に風通しと光(光合成)が大切と言っておられたことを思い出した。スピーチ



のテーマは「樹木の再生」であり、わたしたちの生活環境に密接にかかわるものであった。樹木の診断と治療についていろいろな実例をまじえ、大変面白いお話をうかがうことができた。神戸生田神社の「生田の森に蛭をとばそう」とのプロジェクトのお話にも興味深かった。池を綺麗にし、粘土で50mの川を作り、幼虫を入れついに蛭が飛んだとのお話には感動させられた。質問で出た京都の丸山公園のしだれ桜(佐野藤右衛門の桜?)について、樹下周辺地表面の人の踏圧や置石による土壌の固化が桜の木をダメにするのだとの話をうかがい、やはり樹木を愛しておられるプロだと思った。

芦屋クラブにこれまでたびたび訪問いただいている神戸西クラブ



の加茂修治様をご友人として来ていただいたことにも感謝したい。藤川晃成様は入会の意思を固められたようでこれも嬉しいことであった。

その後、いつもの通り、第2例会議事録承認、YMCA ニュース誕生祝いなどが報告され、充実した1月例会が終了した。

## 125周年記念音楽イベント

島田 恒

神戸 YMCA 創立 125 周年の記念イベントを締めくくる「音楽と祈り～あなたとともに～」が東灘区うはらホールで開催された。参加者が優に 550 名を越す満席の会場で、125 年の歴史をイメージした「誕生」「旅・成長」「崩壊・挫折」「再出発と現在」の 4 部に分かれ、それぞれに聖書朗読、祈祷、お話や歌、ダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられた。長く準備された、いわば手作りのプログラムは、厳粛な式典というよりはファミリア



な雰囲気をかもしだすものであった。ハンドベル演奏が全体を美しく整え、キッズダンスの小学生、ボランティアリーダーやワイズメン、混声合唱団くさぶえなどが舞台上で活躍、大野勉メンが作詞作曲された「あなた(YMCA)とともに」が、何度もバージョンを変えて登場、大きなメッセージ



となっていた。神戸 YMCA の過去・現在、そして未来へと向かう道筋は、自分もまた YMCA につながる意義とよこびを感じさせてくれるものであった。



羽太英樹

神戸YMCAで日本語を学んでいるアジアの青年達を招いての芦屋ワイズ恒例の「交流会」も今回は7回目である。

渡辺ご夫妻のご好意で今回も「ブルーミンメドー」を開放してください、2月1日、留学生6名と引率の櫻井先生、コースプラザのリーダー(大学生&高校生)6名、芦屋クラブ15名さらに特別ゲストとして神戸ポートクラブの大野勉メンが参集した。

加輪上 Y サ委員の司会で楽しい会は始まった。都筑会長の挨拶の後、まずはみんなで持ち寄ったご馳走に舌鼓・・・おいしかった！

留学生は中国、韓国そしてタイ国からの青年たちで、日本でさらに大学で学ぶためにまずは日本語を習得しようとしているツワモノ達だ。



中には将来親族が神戸にいる貿易商に勤めたい者、神学校で学んで祖国で牧師になる決心をした者、祖国へ帰った



中国の6~10を指で表示すると・・・

ら日系企業で働きたいという者など、みんな希望に燃えた青年たちだ。昨年と同じように御影のコースプラザのリーダーたちも参加してくれ、同年代の留学生との交流も合わせ実現した。同じアジア人、言葉は違っても見た目はまったく変わらない。お互いの国が仲良く付き合っていける見本にも見えた。

ワイズのメンバーの中には、中国語、韓国語、タイ語が多少分かる者もいたこともあって、色んな言葉が行き交う中、食事と歓談の時は進んでいった。そして

頃を見計らって全員が自己紹介をしたので、さらに親しみを加えることができた。やがて



お腹も膨らんだ頃、今年も助っ人大野勉メンの登場となった。ギターの弾き語り・・・みんなで歌うたのしいひと時だ。初めに「こんにちは！ こんにちは！世界の国から」で始まる歌はごあいさつを中国語、韓国語、タイ語、日本語に置き換えてみんなで歌う・・・。「上を向いて歩こう」、「この街が好きさ 須磨海岸、舞子浜、六甲山・・・」と、次々と歌が続く中、中国人留学生の「北国の春」、加輪上メンの「千の風になって」の美声も飛び出す。

時間の経つのも忘れてしまった。大野メンに感謝！！みなさんご苦労様でした。

柏原佳子

来年は神戸YMCA日本語学科で是非学んでほしい若者たちと、今年には心に残る節分を迎えることができました。ホームビジットの4名の車の送迎は、上野メンをお願いいたしました。我が家へお迎えした時、すでに保久良神社への散策が決まっていたようです。午後のティータイムの自己紹介時は、少し緊張気味でしたが、完全武装で坂道を登り汗ばむ頃には、日本語では？中国語では？と桑野ウイメンの通訳も大活躍で楽しく会話が弾みました。山から見える美しい神戸の街、神社、お寺、教会、お地蔵様にも興味津々、携帯カメラでパチパチ、話題のイノシシも都合よく姿を見せてくれました。「こんにちは」山道を行き交う人へのご挨拶も真似てくださりこれは嬉しかったです。こんなに素直に大人に向かい合う若者が日本にいるのかなと考えてしまいました。程よい運動で、私たちもお夕食が待ち遠しく大急ぎでテーブルセッティング。関西の習慣



で恵方に向い手巻き寿司を丸かじり、大皿に盛られた料理に「デリシャス！」、和菓子の桜もち、お土産の台湾のお菓子も「美味しい！」「これ大好き」と、すっかり仲良しになり言葉が違ふことなど忘れていました。節分といえば豆まき！男性は鬼の面を着け「鬼は～外！福は～内！揃って最後の撮影！楽しい集いはアツと言う間に終わります。1日の留学生交流会では、タイ、中国、韓国、そして本日、台湾の若者たちと触れ合う機会を与えられ、YMCAに繋がっているワイズの喜びです。一人ではできません。上野メン、桑野姉のご協力に心から感謝です。

### ホームビジット

飯田 義雄

四半世紀ぶりの寒波襲来の節分の日三人の台湾の友達が我が家に来てくださりました。三人とも数回来日の経験があり極めて日本のことを理解されてました。リーダ格の李教授は修平科技大学の教授で好奇心の強い陽気な方です。陳さん、古さんは学生で明るいお嬢さんです。伝統を学びたいとのことで、近くの神社の節分を見に行き、家では折り紙を楽しみましたが器用さには驚かされました。



特に李教授は子供の頃はよく折り紙で遊んだとのことでした。今回は皆台中のYMCAからの短期留学との

ことでした。神戸学生センターの門限は午後 8 時でしたので本当に短い時間でしたが外の寒さと異なり心温まる時間で感謝いたしています。

藤田良祐YMCA連絡主事

### DBCもりおかクラブとの交流報告

今年も、もりおかクラブさまの第1例会に届くよう古澤会長宛てにバレンタインチョコをお送りいたしました。昨年のクリスマス準備第2例会でもりおかクラブから真っ赤な林檎を送っていただき、皆様に配りましたが、これも楽しい交流の一つです。

初めてもりおかクラブ表敬訪問をされた日が、丁度14日バレンタインデーだったことが始まりです。上野メン、桑野、柏原両ウイメンそして今はメンバーではありませんが、もりおかクラブとのDBCを考案された吉岡さんに感謝です。 都筑省三

### 1月第2例会・議事録

日時:1月25日(水) 19:00~21:00

場所:市民会館 304室

出席者:上野、柏原、桑野、島田、都筑、羽太、藤田、福原、堀江、(9名)

#### < 報告・協議・確認事項 >

#### 1) 芦屋クラブ 例会

2月第1例会:2月15日(水) ホテル竹園 3F  
次期クラブ役員 & 委員を決める事務例会  
タイワーク参加リーダーの都合がつけば挨拶をいただく。  
藤川晃成氏の入会式(3月第1例会に決定)  
第2例会:2月22日(水) 市民会館 206号室

#### 2) 今後の例会など行事予定

次年度 キックオフ例会 7月18日(水)  
竹園Hは巨人軍のため 開催場所は市民会館  
クリスマス例会は 12月23日(日)で決定  
六甲部行事関連  
3月17日(土) 六甲部評議会  
7月14日(土)に12-13年度第1回評議会を開催し、そのあと8クラブ納涼例会を開催する。  
六甲部部会 9月8日(土)

#### 3) 会計報告

羽太メンより12月の会計報告があり、承認

#### 4) その他

ホームページ:1月23日 神戸YMCA 功刀氏より説明、西日本区のホームページの六甲部(芦屋クラブ含む)ところに新規スタイルでリンク。六甲部各クラブ(さんだクラブ除く7クラブ出席)了承。費用¥3000- /年。

みどり作業所:加輪上メンのご尽力により、3月に水墨画を新築ビル竣工のお祝いとして贈呈

B F切手:福原メン保有分の処分方法につき継続審議

堀江哲次

### 冬期プログラム終了

年末から年始にかけて実施されていたスキーキャンプや雪遊びなどの特別プログラムが、大きな事故もなく無事に終了しました。今年の冬は雪にも恵まれて、良いコンディションでした。最終の参加人員は370名の参加で、2009年度、2010年度を若干上回って増加傾向にあります。引き続き、春休みにもスキープログラムが予定されています。

125周年記念イベント「音楽と祈り」、感動のフィナーレ！  
去る1月7日(土)に、1年間続いた創立125周年の記念イベントを締めくくる「音楽と祈り～あなたとともに～」が東灘区民センターうはらホールで開催され、多くのYMCAに集う方々と共に感動の時を過ごすことができました。入場者は公式発表で576名。幼稚園児から学童保育やキッズダンスの小学生、ボランティアリーダーやワイズメン、混声合唱団くさぶえや神戸YMCAベルクワイアーの皆さん、その他、多くの方々が参画して下さったことに心から感謝をします。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター(VC)訪問  
去る1月20日(金)から22日(日)までの3日間、武田寿子会長、中尾秀一国際委員長、小寺隆志主事(三宮ランチ)と水野雄二総主事の4人が、東日本大震災の被災地視察を目的に岩手県を訪ねました。自然の脅威に対して、寡黙に立ち向かっている方、なぜ自分たちがこのような目にあうのかとやるせないため息を漏らす老婦など、何人かの方々と触れ合い、お話を伺うことができました。神戸YMCAは仙台YMCAを中心とした支援活動を続けていますが、昨年10月以来、宮古VCにも応援ボランティアを派遣しており、今後も継続できればと願っています。

### 今後の予定

#### 第28回午餐会

盛岡YMCA宮古ボランティアセンターの長として、今や地元で親しまれる存在です。宮古での貴重な働きを共に伺い、学びたいと思います。是非、ご参加ください。

日時:2月18日(土)正午～午後2:00

場所:神戸YMCA 4F 神戸サイコー亭

テーマ:「岩手県宮古からの震災支援活動レポート～本当の隣人となるために～」

講師:池田勝一さん(宮古ボランティアセンター長)

会費:1,500円(昼食費含む)本部事務局までお申込ください。

ユースプラザ KOBE・EAST フリーマーケット

日時:3月17日(土)午前11:00～16:00

場所:ユースプラザ KOBE・EAST

### 編集後記:

今年の日本の冬は雪も多く、厳しい寒さとなった2月です。しかし梅が咲いて、桜もほころぶ春はもうすぐです。風邪などをひかないよう健康に留意して春の訪れを待ちたいと思います。 堀江哲次